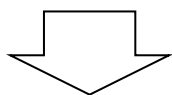


今後の県の実組みの方向性について

- ・ 県内において、解決すべき地域課題はいろいろな分野にわたり多様に存在する。しかしながら、投入できる資源には限りがあることから、優先順位をつけて課題解決に取り組んでいくことが必要。
- ・ 5Gについて「すばらしい技術」という漠然としたイメージが先行する一方で、「5Gを使って何ができるのか（できないのか）」、「5Gの導入・運用に当たりどの程度のコストがかかるのか」といった情報が現状では十分とは言い難い。県内における5Gの利活用の推進のためは、産業界などの関係者が（5Gを利用する場合の）メリット・デメリットなどの具体的なイメージを実感できることが必要。



【県の実組みの方向性（案）】

- 県が今後、重点的に（戦略的に）取り組もうとしている分野（例：観光、中山間地域、ものづくり・デザイン、農業分野）において、現場の具体のニーズを踏まえつつ、将来の県内（他地域）における横展開も見据えた「5Gを利活用したモデル事業」の実施等について、来年度当初予算編成の中で検討を進める。
- その際、全国的な5Gサービスを展開する携帯電話事業者との連携協力や、国において制度化の検討が進められている「ローカル5G」の活用も視野に入れ、県としての事業実施に向けた検討を進める。